整理番号	68-15-16

現況分析における顕著な変化についての説明書（教育／研究）

法人名　　岡 山 大 学　　学部・研究科等名　　教育学研究科

1. 分析項目名又は質の向上度の事例名

分析項目：Ⅰ　教育の実施体制

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

○顕著な変化のあった観点名：基本的組織の編成

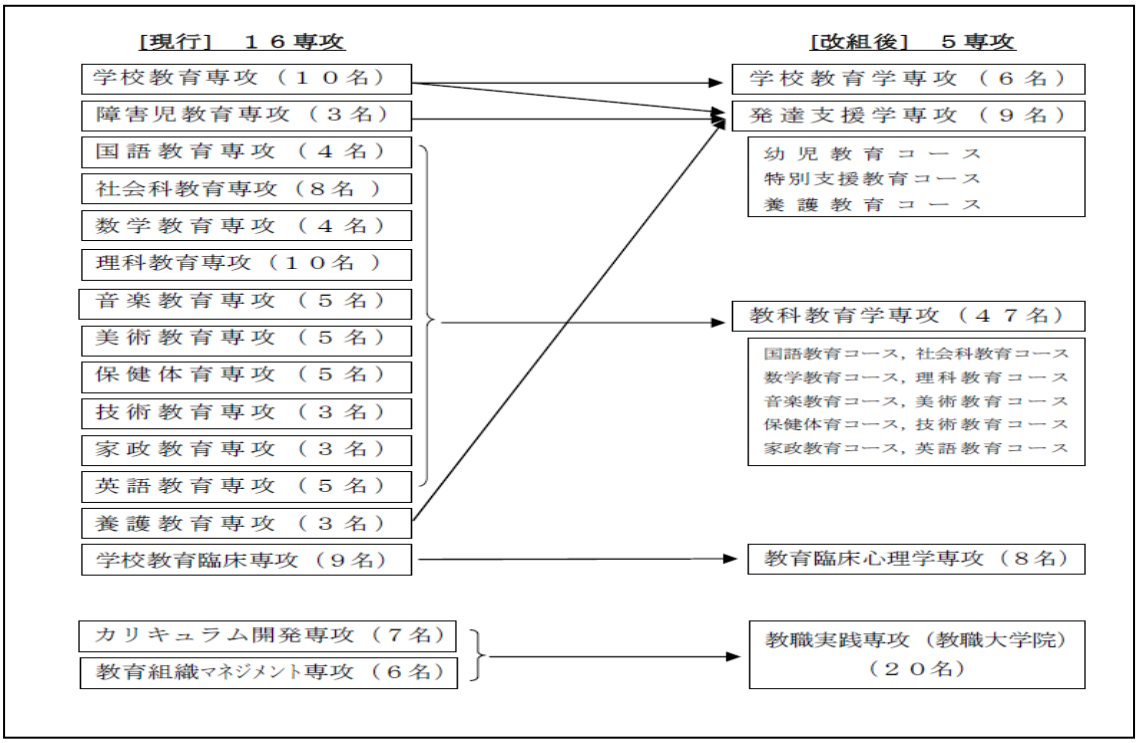
大学院教育の充実を目的に平成 20 年度中国地区唯一の教職大学院（教職実践専攻）を設置し，同時に 16 専攻（学校教育専攻，国語教育専攻，数学教育専攻，理科教育専攻，美術教育専攻，英語教育専攻，音楽教育専攻，保健体育専攻，社会科教育専攻，家政教育専攻，障害児教育専攻，養護教育専攻，技術教育専攻，学校教育臨床専攻，カリキュラム開発専攻，教育組織マネジメント専攻）を学校教育学専攻，発達支援学専攻，教科教育学専攻，教育臨床心理学専攻の４専攻に再編した。（資料１）

教職実践専攻は，学校教育に関する理論と実践を教授研究し，教育現場の課題について，理論との架橋・往還・融合を通じて高度にマネジメントし遂行できる高度教育実践力を備えた高度専門職業人としての教員の養成と研修を行っている。

修士課程の４専攻は，専攻毎の学問研究分野における専門性を深めることにより，「教科や理論に強い教員」，「学校教育に関わる研究者」を養成している。そのため，共通基礎科目の設定と各専攻（４専攻）ごとの目標に応じた専門基礎科目「コースワーク」を導入し，授業科目の体系化を図っている。

特に，教育実践研究では附属学校園等と連携して，学校現場での実践研究の場を導入した。

資料１：大学院教育学研究科の教育組織移行図



（出典：教育学系事務部資料）